

# 議会だより

発行 日の出町議会  
編集 議会だより編集委員会  
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780  
TEL 042 (597) 0511  
FAX 042 (597) 4369



10月26日、日の出町青少年健全育成会主催の「親子イモ堀り・トン汁をたべよう!」が開催され、青空の下約320人が参加しました。

お知らせ



## ひので議会だより表紙写真募集

募集内容

- ・町内で撮影した冬をイメージした写真
- ・町内在住・在勤の方

応募期間 11月15日～12月28日

第173号(平成27年2月15日発行)に掲載予定

詳しくは16ページをご覧ください。

今回より一般質問に  
1問1答方式を採用

## 平成 26 年 第 3 回定例会

日の出町の保育事業に関する条例

ほか22件の議案を審議 ..... 2P

**一般質問** 「町政を問う」11人の議員 ..... 6P

平成25年度決算審査 ..... 12P

# 定例会

## 審議内容

9月1日から9月16日までの16日間の会期で開催されました。今回の定例会では、平成25年度決算等20件の町長提出議案と、議員提出議案2件を審議し、すべて原案通り可決、認定しました。

また、3件の陳情についても審議され、1件が採択されました。

主な議案として、条例では「日の出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」が制定されました。

これは、「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い制定するもので町が認可する地域型保育事業(家庭的保育事業・小規模保育事業・居宅訪問型保育事業・事業所内保育事業)の基準を定めるものです。予算として、平成26年度補正予算及び平成25年度決算が審議されました。

人事案件としては、日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任及び日の出町教育委員会委員の任命について審議されました。

### 条例の制定・改正

・日の出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例  
..... 可決

・日の出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例  
..... 可決

子ども・子育て支援法の制定により基準を定めるもの。

・日の出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例  
..... 可決

児童福祉法の改正等により制定するもの。

・日の出町保育の必要性の認定の基準を定める条例  
..... 可決

子ども・子育て支援法の制定により基準を定めるもの。

・日の出町児童クラブの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例  
..... 可決

児童福祉法の改正等により制定するもの。



### 子ども・子育て支援新制度とは

子ども子育て支援新制度とは、平成24年8月に成立した子ども・子育て関連3法に基づき実施される新たな制度で、幼児期の教育、保育の総合的な提供や地域の子ども・子育て支援の一層の充実、待機児童の解消などを目指し、平成27年4月から実施される予定です。

平成26年度補正予算

・平成26年度日の出町一般会計補正予算(第2号)……………可決

歳入歳出それぞれ9千6百44万8千円を追加。

・平成26年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)……………可決

歳入歳出それぞれ2百86万4千円を追加。

・平成26年度日の出町下水道事業特別会計補正予算(第1号)……………可決

歳入歳出それぞれ56万円を追加。

・平成26年度日の出町介護保険特別会計補正予算(第1号)……………可決

歳入歳出それぞれ2千7百79万円を追加。

・平成26年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)……………可決

歳入歳出それぞれ9百55万3千円を追加。

平成25年度決算

・平成25年度日の出町一般会計及び各特別会計の決算を認定(詳細についてはP12～P15)

人事

・日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任について……………同意

須崎 安通 氏

任期 平成26年10月1日から

平成29年9月30日

福島 誠一 郎 氏

任期 平成26年12月2日から

平成29年12月1日

・日の出町教育委員会委員の任命について……………同意

大串 國 廣 氏

任期 平成26年10月1日から

平成30年9月30日

道路の認定

・日の出町道路線の認定について……………可決

新たに道路を認定するもの

路線名 落合23号線

落合24号線

契約

・平成26年度日の出町防災行政無線固定系デジタル移行工事請負契約の締結について……………可決

契約金額 8千9百64万円



防災無線子局

議員提出議案

・「手話言語法(仮称)」の早期制定に関する意見書……………可決

意見書の詳細については5ページ

・地方税財源の拡充に関する意見書……………可決

意見書の詳細については5ページ

陳情

9月2日に総務まちづくり常任委員会、厚生文教常任委員会を開催し、それぞれの陳情について審査されました。

・日の出町 空き家の適正管理に関する陳情……………継続審査(第3回臨時会からの継続審査)

「憲法解釈を変えて集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の速やかな撤回」を国に求めることに関する陳情……………不採択

・手話言語法制定を求める意見書提出についての陳情……………採択

・ガードレール改修に関する陳情……………不採択

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

平成26年度日の出町防災行政無線固定系デジタル化移行工事

現在使用されている防災無線を5年計画でデジタル化に移行する工事で、建設してから23年間経過し、老朽化が進んでいること、電波法の改正により平成34年12月からアナログ式が使用出来なくなるにより、町内の37箇所の屋外拡声子局等をデジタル化する工事です。

# 議 案 と 結 果

## ＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	政	公	町	共	志	新	結 果
46	日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	同意
47	日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	同意
48	日の出町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	同意
49	日の出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	×	○	—	可決
50	日の出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	—	可決
51	日の出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	—	可決
52	日の出町保育の必要性の認定の基準を定める条例	○	○	○	○	×	○	—	可決
53	日の出町学童クラブの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可決
54	平成 26 年度日の出町一般会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	—	可決
55	平成 26 年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	—	可決
56	平成 26 年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	—	可決
57	平成 26 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	—	可決
58	平成 26 年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	—	可決
59	平成 25 年度日の出町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	—	認定
60	平成 25 年度日の出町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	—	認定
61	平成 25 年度日の出町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	—	認定
62	平成 25 年度日の出町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	—	認定
63	平成 25 年度日の出町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	—	認定
64	平成 26 年度日の出町防災行政無線固定系デジタル化移行工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	可決
65	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	—	可決

※一新の会（新）については議長を務めているため採決には参加していない。

## ＜議員提出議案＞

番号	議 案 名	自	政	公	町	共	志	新	結 果
5	「手話言語法（仮称）」の早期制定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	—	可決
6	地方税財源の拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○	—	可決

## ＜陳 情＞

番 号	陳 情 名	陳 情 者	審議結果
26 陳情第 5 号	日の出町空き家の適正管理に関する陳情	新日本婦人の会日の出支部 代表 森山幸子	継続審査
26 陳情第 8 号	「憲法解釈を変えて集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の速やかな撤回」を求めることに関する陳情	日の出 9 条の会 相田諭子 外 2 名	不 採 択
26 陳情第 9 号	手話言語法制定を求める意見書提出についての陳情	公益社団法人東京聴覚障害者 総合支援機構・東京都聴覚障 害者連盟 会長 粟野達人	採 択
26 陳情第 10 号	ガードレール改修に関する陳情	千金忠司	不 採 択

※ 26 陳情第 5 号については、第 3 回臨時会からの継続審査

## ＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	人数
自民蒼政クラブ	自	★ 平野隆史・星野 茂・小玉正義・東 玉喜・川脇敏徳	5 人
政 和 会	政	★ 濱中映慈・神田芳男・濱田敏郎	3 人
公 明 党	公	★ 大澤言枝・嘉倉 治	2 人
町 民 党	町	★ 田村みさ子・青鹿和男	2 人
日 本 共 産 党	共	★ 折田真知子	1 人
志 政 会	志	★ 森田征四	1 人
一 新 の 会	新	★ 加藤光徳	1 人

# 意見書

議員提出議案第 5 号

## 手話言語法（仮称）の早期制定に関する意見書

手話は、聴覚障害者がコミュニケーションを取り、物事を考える際に使用され、手指の動きや表情などを使って概念や意思を視覚的に表現するもので、日本語と同様に独自の語いや文法体系を持つ言語である。

平成 18 年 12 月に国際連合総会において採択された「障害者の権利に関する条約」では、言語は「音声言語及び手話その他の形態の非音声言語」と定義されている。手話は言語として国際的に認知されており、わが国は平成 26 年 1 月に同条約を批准したところである。

また、平成 23 年 8 月に成立した改正障害者基本法第 3 条第 3 号は、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と規定し、手話が言語に含まれることを明記している。

こうした中、手話が音声言語と対等な言語であることを広く周知し、国民の理解を促進するとともに、聴覚障害者が、家庭、学校、地域社会その他のあらゆる場において、手話を使用して自由なコミュニケーションを享受できるような社会環境を整備することが求められている。

よって、日の出町議会は、国会及び政府に対し、手話に関する包括的な法律として「手話言語法（仮称）」を早期に制定するよう強く要請する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 26 年 9 月 16 日

東京都西多摩郡日の出町議会

衆議院議長 総務大臣  
参議院議長 文部科学大臣 様  
内閣総理大臣 厚生労働大臣

議員提出議案第 6 号

## 地方税財源の拡充に関する意見書

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

しかし、国は、平成 26 年度税制改正において、地方法人特別税・地方法人特別譲与税を廃止しないばかりか、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入し、消費税率の 10 パーセントへの引き上げ時には、法人住民税の国税化をさらに進めるとした。

こうした措置は、地方税財源の拡充につながらず、地方の自立そのものを妨げ、地方分権の流れに逆行するものである。併せて、来年度からは法人実効税率の引下げが予定されており、地方税財政への影響が強く懸念されている。また、法人実効税率の引下げに関連し、地方自治体が自らの課税自主権に基づいて実施している地方税の超過課税について、一部からはその自主的な取り止めを求めるかのような意見も出てきている。

現在、日の出町には、急激に押し寄せる少子高齢化への対応や、子育て環境の整備、高度成長期に建設された多くの公共施設の維持・更新、防災力の強化、治安対策など、膨大な財政需要が存在している。

地方自治体が、こうした多岐にわたる課題に適切に対応し、充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足という問題は、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることはできない。すなわち、近年の税制改正で導入された地方法人特別税及び地方法人特別譲与税、地方法人税のように、地方固有の税を地方間の財源調整に用いるような対応は、厳に慎むべきことである。

よって、日の出町議会は、国会及び政府に対し、法人実効税率の引下げを行う場合には、国の責任において確実な代替財源を確保するなど、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼさないよう万全の対応を行うとともに、憲法で保障された地方の課税自主権に基づく超過課税の実施に関しては、あくまでも地方自治体の判断が尊重されるべきこと、また、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むことを強く要請する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 26 年 9 月 16 日

東京都西多摩郡日の出町議会

衆議院議長 総務大臣  
参議院議長 財務大臣 様  
内閣総理大臣

# 一般質問

## 町政を問う

要旨

9月定例会より1問1答方式となったことにより、複数の質問を掲載することとなりました。

11人の議員



こ だま まさ よし  
小 玉 正 義

**地域防災計画の見直し内容について問う**

**質** 町民参加が一つの特長だが、その内容は、  
**課長** 自助による町民の防災力向上と地域による共助の推進が特長となっている。  
**質** 「防災隣組」を目指す自治会が出てきたら町は支援するか。  
**課長** 防災隣組の認定を進めたい。自発的活動が望ましく町は都への申請やイベント参加

時の支援が中心。自治会活性化補助金、民間防災組織育成助成金の活用で推進していただく。  
**質** 防災無線の改善計画について伺う。  
**課長** 5年計画で子局の更新とデジタル化を行う。子局増設、各スピーカーの個別音量調節等検討していく。

**「土砂災害時の避難」について**

**質** 災害予想時の避難勧告や避難指示方法をどう規定しているか。  
**課長** 気象条件や地震の震度により、住民への避難勧告の基準、広



東京都災害情報システム

域避難所の動きなどを細かく定めた。  
**質** 災害予想時の情報伝達方法見直しは。  
**課長** 国、都とのホットラインや自動メール送信システムを構築した。

**国民健康保険の料率、不足分の補填等について、周辺市町村との格差の動向を問う**

**質** 不足分の繰入金格差は今後どのように推移していくか。  
**課長** 税収が現状のままであれば、一般会計からの赤字繰入金は今後も増えていくことが予想される。



星野の茂

(仮称)野鳥の森・こども自然公園について

質 構想は長期総合計画、都市計画、観光振興計画などを関連させているが整合性をどのように図って行くのか。

課長 里山の豊かな恵みと交流促進を通して、地域の活性化を図るため、それぞれの計画に対応させた構想になっている。

質 環境に配慮したインフラ整備が必要と考えるが。

課長 トイレなどの必要最小限の施設整備や周辺からのアクセスなどが今後の課題であり、検討委員会等の場で検討を重ねて行く。

質 現在、散策道や森の手入れが行き届いている。これは都からの補助事業の成果と考え

ているが今後の見通しについて伺う。

課長 今後必要な整備や管理等は、ボランティアや地域の協力、多方面での補助金活用などを検討して行く。

東光院橋について

質 今後のタイムスケジュールは。

課長 年度内に詳細設計を終了させ、来年度



野鳥の森からの眺め

に工事積算を行う。28年度での予算要求で下部工事の着手を予定している。

質 工事費及び補助金はどの程度見込んでいるのか。

課長 現在、詳細設計を行っている段階のため精査した工事費は算出していない。補助金については「人道橋建設」が東京都の市町村土木補助金の対象外となってしまうため、現時点では補助金は見込んでいない。

田村みさ子



子育て福祉課窓口

街路樹について問う

質 桜の街路樹について、手入れの検討を。

課長 木の伐採、枝の剪定を計画的に進めていく。藤谷街道については歩道補修もする。

質 日の出団地の街路樹の植替え計画は。

課長 プラタナスは危険木と診断され、順次伐採している。今後の植栽は状況を見て計画的に進めていく。

例規文書を問う

質 条例や規則に加え要綱等についてもホームページ掲載の検討を

課長 今後、近隣の状況を参考に検討する。公共施設等総合管理計画の策定を問う

質 計画策定予定は。

課長 今年度中に施設等の調査を行い計画策定に向け検討する。介護保険制度の充実・強化を問う

質 社会福祉協議会の小地域福祉活動では自治会を中心に福祉の実践をしてきた。この環境を継続し発展させるよう実のある連携を。

課長 地域資源の掘り起しや連携が最も重要と認識している。社は地域福祉の先導的な役割をしてきた。連携強化に向けて協議し福祉コミュニティの実現を目指していく。

子育て環境充実を問う

質 保育園と幼稚園の子育て支援窓口一本化をしようか。

町長 窓口の一本化は保護者にも利用しやすい。今後は子育て福祉課を相談窓口とする。

質 町内幼稚園での「預かり保育」について財政補助の検討を。

町長 実現に向け努力する。



**日の出山頂付近**  
**質** 東雲山荘の老朽化に伴う改修計画は。  
**町長** 自然公園法の規制があるが、景観に配慮した外壁の補修工事を次年度以降実施していきたい。

**質** 具体的にどのような規制があるか。  
**課長** 工作物の新築増改築、色彩の変更には環境大臣の許可が必要だが、修繕の場合は許可、届け出は不要である。

**質** 東雲山荘の年間宿泊者数は。  
**課長** 23年度157名、24年度231名、25年度267名と年々増加してきている。  
**質** 今後のPR等はどのように考えているか。  
**課長** 町のホームページ。また、イオンモール、JR東日本八王子支社、御岳登山鉄道等にPR

の協力依頼を考えている。  
**質** 日の出山山頂付近(日の出山園地)の整備状況について。  
**町長** 東京都環境局の所管事業として今年度から3カ年計画で整備されると聞いている。  
**質** 具体的な計画内容は都から聞いているか。  
**課長** 11月頃に入札本年度より着工し、ベンチや案内板の設置、また、ロープ柵等で安全対策にも配慮されている。  
**質** 登山道等の整備について。  
**町長** 昨今の異常気象や、集中豪雨等による登山者の救出道路、山林火災等の防災道路として、早急に整備する必要があると感じており、関係機関に強く要望していく。



**嘉倉 治**

**将来に備えた都市計画設定を問う**  
**質** 人口減少社会の到来で20代〜30代の女性が2040年に半減する全国の自治体は896団体に及ぶことが公表されたが、町の10年20年先の将来構想を伺う。  
**町長** 地域別将来推計人口によれば、当町は減少予想とは逆に現在429人の増加である。これは次世代育成クーポン、長寿化対策、日本一の福祉の町づくりなどの施策による成果と考えている。将来構想は第5次長期総合計画を基に推進する。  
**質** 人口減少社会、少子化対策として定住化促進の観点で、市街化区域と隣接する三吉野清坊、宿上、井戸端地域を市街化に編入しては。

**課長** 地権者の同意や農業振興地域の変更など諸課題に対応する必要があるが、慎重に検討してまいりたい。  
**質** 空き家対策を問う  
**質** 空き家の諸問題に対応すべく条例制定、空き家の有効活用を図ってはどうか。  
**課長** 個人の財産権の問題もあり、国の法整備の動向を見据え検討したい。  
**東光院橋の実施計画を問う**  
**質** 橋梁の規模・建設費用概算は。  
**課長** 橋長は36m、幅員が3m、H27年度に工事積算を実施。  
**健康マイレージ制度について問う**  
**質** 制度の進捗状況は。  
**課長** 関係機関との協議をしており早期に取り組みたい。



市街化区域に隣接する土地



おおさわ  
**大澤 言枝**

**地域包括システムについて問う**

**質** 高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられる「地域包括ケアシステム」の計画は。

**町長** 2025年には後期高齢者は、今の2倍、四千人を越える予想。福祉施策はもとより、町の行財政運営にも大きな影響がある。国や都の動向を見て、「町づくり地域づくり」に邁進する。

**医療費無料化を問う**

**質** 町長の選挙公約である医療費無料化70歳引下げはいつ実施か。

**町長** 本年12月議会条例化を目的に作業を進め、明年の実施を目指す。

**役場駐車場について**

**質** 役場正面の駐車場出入口の拡幅を。

**課長** 事故防止に配慮

し駐車場内の速度表示の設置や、交通状況に留意し、様子を見る。

**安全・安心の給食を**

**質** 給食食材放射性物質検査の継続を。

**課長** リース契約を延長し、検査は続ける。

**子どものスマホ対策を問う**

**質** スマートフォンやライン等小中学生に普

及し問題が多発しているが実態は。

**課長** 小中学校ともに問題となるようなことはない。中学校は持ち込み禁止とし、総合学習・セフティー教室等で指導している。

**女性が発揮できる社会を**

**質** 町の女性管理職の登用は。

**町長** 女性管理職は不在。女性にチャレンジしやすい環境を確保し、昇任試験を実施。



高齢者外出支援バス

かわわきとしのり  
**川脇 敏徳**



**新公民館の建設工事について問う**

**質** 工事の進捗状況は。

**課長** 2月の大雪で工事が遅れ、11月末を工期として事務処理中。

**質** 新公民館の建築工事など町民が関心あるものは、その状況をネット配信しては。

**課長** ホームページのリニューアルに合わせて検討する。

**質** 今回設置する太陽

光パネルの規模と能力は。



建設が進む公民館(やまびこホール)

**課長** 40枚のパネルを設置し、約9.5KWの総発電量で、施設内使用を除く、売電に関して

は月1万円程度と推測は。

**質** 建設の管理体制は。

**課長** 施工関連業者と建設課の一級建築士による定例打合せと、週2回以上の現場管理。

**質** 日の出町の業者は

何社参加しているか。

**課長** 町内業者数社に声を掛け、4社が参加。目的別歳出決算額における民生費と町独自の施策について問う

**質** 民生費の構成比について平成20年度から25年度の推移は。

**課長** 30.1%から37.8%へと7.7%の増加傾向にある。

**質** 今後の見通しは。

**課長** 増加傾向にある。

**質** 高齢者医療費助成の年齢を75歳から70歳に引き下げた場合の推移とその対応は。

**課長** 増える可能性があり、精査調整が必要。

**質** 行財政のバランスを考えた場合、町独自の施策を受けられる要件の見直しやPDCAサイクル等による検証が必要ではないか。

**課長** 今後研究検討していきたいと思う。



ひがし 東 たまき 玉喜



平井橋

**本宿小東側周辺雨水対策と児童生徒の、安全確保について**  
**質** 進捗状況と今後の計画について。  
**課長** 周辺雨水対策の調査は終了し、対策はこれからだが早期解決は難しい。浸透処理施設等多様な対応策を研究する。水たまり対策は、現地を確認し対応策を検討する。  
**質** 補助道3号線と藤

谷街道交差点に正規の信号をとという住民の強い要望があるが、取り組み状況は。  
**課長** 五日市警察署に確認したが、交通量等を確認した結果、現時点では難しいとのこと。引き続き町として要望して行く。  
**質** 空き家対策を問う  
**質** 空き家の現状と対策について。  
**課長** 自治会長の協力

のもと行った、1008戸の空き家の調査結果を基に居住実態のない空き家を確認中。今後も、空き家情報の把握に努め、速やかに対応できるように取り組む。  
**平井橋及び平井川河川改修について問う**  
**質** 平井橋の改修計画について。  
**課長** 今年度平井橋補修設計委託契約をし、平成27年度以降に補修工事を行う。  
**質** 平井川改修なくして雨水排水、防災対策はない。改修の現状と今後の計画について。  
**課長** 平成26年度は瀬戸岡御堂橋付近と観音橋付近を工事予定。日の出区域での本格的な工事には至っていない。毎年、都町村会を通じて都へ平井川早期整備の要望をしていく。



ひら 平野 たかし 隆史

**保育について**  
**質** 待機児童の状況について。  
**課長** 6月に新園が開園し、待機児童は解消されたが、9月1日現在では、3名発生している。  
**質** 保育園の入園基準について。  
**課長** 町保育園の実施に関する条例及び施行規則で必要な事項を定めている。  
**質** 保護者の方から、どうしても入園できないのかという声をよく聞くが。  
**課長** 基準を決め、その指数(ポイント)で優先的に、困っている方から入園していただく形としている。  
**質** 保育士の処遇改善について。(責任の重い、命を預かる仕事と思うが。)

**課長** 町でも処遇改善補助を、保育士の人件費加算ということを実施している。普通の町であれば、1人で20人みているところを、17・18人を見ている状況であり、保育士1人1人の賃金ではなく、1人1人の抱える仕事の負担を軽減し、よりよい保育の提供、改善

をお願いしている。  
**農産物の被害状況について**  
**質** プラムボックスウィルスの状況について。  
**課長** 平成21年度から平成26年6月現在64園地、739本伐採、伐根処理を行っている。  
**質** 害獣等による被害状況について。  
**課長** 本年9月現在、イノシシによる被害が町内18件で、農作物被害対策委員会を設置し協議検討している。



町内の保育園



## 折田真知子

住宅リフォーム制度について問う

質 商工振興施策として補助金制度導入を。

課長 振興策としてどの程度の効果があるのか、研究を続けたい。

町長 活気に満ちた自立した町づくりを進めるにあたり、商工業者・農林業者の繁栄は不可欠である。前向きに商工会と協議を進めていきたい。

公園に健康遊具の設置を

課長 健康遊具の設置は老化防止、介護予防など福祉の増進に寄与すると考える、安全課題を考慮し、慎重に検討したい。

水環境の保全の行動促進策を問う

質 公共施設での石鹸の利用促進を求める。

課長 なぜ石鹸が良い

のか、石鹸と合成洗剤の違いをまずお知らせしたい。

質 水源地である認識と取り組みを。

町長 320億円かけた下水道の普及で水質が改善した。水資源の涵養として森林の維持管理、撫育管理を通し、平井川の水質維持を図り、親しまれる川に育

てて行きたい。低すぎる難病手当の増額を問う

質 近隣自治体と比較して低すぎる手当の増額を求める。

課長 27年1月1日から新たな難病医療費助成制度が実施され、指定難病が300を超えるとと言われており、近隣自治体でも手当てのあり方を検討すると聞いている。福祉施策等全体の中で検討することが必要である。



水環境の保全・平井川の流れ

## 青鹿和男



国指定天然記念物・幸神社のシダレアカシデ

選挙公約を問う

質 選挙公約の検討状況は。

町長 『医療費無料化を75歳から70歳に』：本年12月に条例案を議会へ提出予定。②『待機児を解消』：9月1日現在3人の待機児童がいる。解消する施策を行う。③『こどもセンター』：支援事業計画の予定。④『本宿小と給食センター立替』

平成27年度策定の学校整備計画等で示す⑤『梅ヶ谷トンネル』：平成28年度から着工予定

⑥『総合文化体育センター』：建設地、施設内容など、検討する。

⑦『(仮称)野鳥の森・こども自然公園』：今年度、基本計画を策定予定。⑧『行財政改』

職員定数の10%強削減、高齢者対策の再構築、財政調整基金の積み増

し、町長報酬10%カット実施してきている。引き続き改革に取り組んでいく。その他再生可能エネルギー導入可能施設等を調査中。

教育委員会の制度改革を問う

質 改革案のポイント

は。いつから施行か。

教育長 ポイントは：①新教育長を置く。②総合教育会議を設置③首長は、総合的な施策の大綱を作成④緊急の必要がある場合に文部科学大臣が教育委員会に指示できる。平成27年4月1日施行。

文化財登録制度の導入を問う

質 「文化財保護条例の導入を図るべきと思うが。

課長 文化財保護審議委員と協議し、制度の検討をしていきたい。

各会計の決算を集中審議（9月8・9日）

平成25年度

決算を集中的に審査する予算決算常任委員会が行われ、活発な質疑応答が交わされました。そして、16日の本会議最終日には、委員長による審査経過・審査結果の報告及の後、採決により5つの会計決算全てが認定されました。

主な  
質疑  
Q&A

一般会計

Q 経常収支比率などの財政指標及び健全化判断比率は。

A 経常収支比率については、昨年度より1.9%改善した。健全化判断比率については、いずれも早期健全化基準を大きく下回っている。

Q 地域振興費の活用等、今後の基金の積み立て計画は。

A 地域振興費を一般財源にあて、その分余裕があれば基金に積み立てが出来る。当面は財政調整基金10億円をめどに積み立てていきたい。

Q 一般会計借り入れ残高の推移は。

A 25年度をピークに償還は若干減ってきたが、防災行政無線デジタル工事、諏訪下町営住宅工事により30年度くらいから増えていく。

Q 法人税の大幅な増加と個人住民税の減は。

A 法人税については法人の業績が著しく良好であった。他の法人についても若干ずつ伸びる兆しがある。個人住民税については、34〜44歳くらいの年代が増えてきている。今後所得に反映していただければと考える。

Q 収入未済額については。

A 10年連続で減少している。全力で発生させないよう努力したい。



決算を審査中の議場

平成25年度会計別決算

会計名		歳入	歳出
一般会計		9,041,668,067円	8,805,956,249円
特別会計	国民健康保険会計	2,153,822,552円	2,117,670,038円
	下水道事業会計	927,969,385円	918,734,070円
	介護保険会計	1,167,983,070円	1,143,646,773円
	後期高齢者医療会計	322,232,579円	313,537,151円
合計		13,613,675,653円	13,299,544,281円

**Q** 効率的な滞納処分の実施は。

**A** きめ細かで丁寧な納税交渉、悪質な滞納者には厳正な対応、居所不明者等の執行停止などにより出来る限り減らしていきたい。

**Q** 経常収支比率は。

**A** 税収の減により高くなった。平成17年度から行財政改革の集中改革プランを策定し、歳出削減財源確保に取り組み現在に至っている。

**Q** 日の出町サービス総合センター株式会社の収支決算は。

**A** つるつる温泉、塩田トマトハウスについては黒字化がなった。肝要の里については厳しい状況。今後も黒字化に向かって努力していく。

**Q** 人事制度構築委託料の事業効果は。

**A** 個々の職員の能力を引き出すために実施してきた。今後より良い行政サービス提供に向けて職員の育成が図れるものと確信している。

**Q** 予備費の充用は。

**A** 雪害対応の車両の修繕料、借り上げ料4百万円。雪害による庁用車庫の解体撤去工事。町議会議員補欠選挙の対応、弁護士相談料、大島町義援金。

**Q** 大島への台風による見舞金は。

**A** 町村会で見舞金を2百万円出すことになり、人口その他の割合から日の出町は35万円支出することとなった。

**Q** 土地開発公社の返済については。

**A** 返済計画に基づいて、26、27、28年度で利子分も含め、約1億1千万円支払う計画。

**Q** 平成20年度と25年度の人件費の推移と職員数の推移は。

**A** 人数は減っているが、人件費は退職金、役職に応じた特別負担金等で加算があり、それほど変化がない状態。

**Q** 地方税のコンビニ収納は。

**A** 平成25年度から開始



おでかけ支援ドリームカー

源については、景気の回復、自主財源の確保、歳出面での削減等で、財源を生み出しながら施策の実現に努める。

**Q** おでかけ支援ドリームカーの台数の増加については。

**A** おおむね予約が埋まっている状態。今後の需要を見据えた上で検討したい。

**Q** 健康増進事業費等の減少については。

**A** がん検診委託料が受診率50%を目途だったが、20数%に落ちている関係で減となった。

**Q** 障害者の交通費助成事業は。

**A** 年間1万8千円以上で、個人で利用したタクシーに対して領収書を添付する。ガソリン代は該当しない。





日の出町の山林

**Q** がん医療費助成について認定者数、一人当たりの医療費は。

**A** 25年度で申請をした方289名で認定が222名、その他の方は75歳医療費助成に回った方、転出等で資格が無くなった方。

一人当たりの医療費が下がっているのは、医療費の違いによるものと思われる。

**Q** 不法投棄対策経費は。

**A** 環境美化作業委託については、月に1度シルバーに町内の不法投棄の見回りをお願いしている。

不法投棄看板作成委託料は、3種類30枚づつを作成し、申し出があれば差し上げる形でお願いしている。

**Q** 肝要の里の運用状況は。

**A** なかなか入込客数が伸びない。今後観光まちづくり事業を5団体補助しているが、そちらと連携を図りながら25年度を上回らせたい。商品等のPRをはかり、事あるごとに町外に向けて発信していきたい。

**Q** 農業振興経費・観光費の事故繰越については。

**A** 農業振興経費は2月の大雪により農園整備事業

が遅れたため。観光費は森林景観整備委託料は大雪の関係で現地に入れない状況が続いたため。いずれも5月に全て完了した。

**Q** 花粉対策事業経費については。

**A** 当初3.59ヘクタール予定していたが、事業の箇所が限定されたため、30%の1.08ヘクタール実施したため、当初より減額となった。

**Q** 平井地区雨水配水対策調査委託は。

**A** 東本宿から道場にかけて、どの程度側溝等が入っているのかを調査するもの。今後については27年度以降考えていく。

**Q** 農業委員会の定数は。

**A** 公職選挙法に基づく選挙で委員さんは決められており、議会推薦、農業



町民グラウンド

団体推薦を含め現在は16名。

**Q** スポーツ施設の予算は。

**A** 老朽化が目立っており、町民グラウンドの改良、トイレのハウスクリーニング等徐々に手を付けていく。

**Q** 地域ふれあい活動費は。

**A** 青少年健全育成会の活動について、前年度の残金があり、補助金がなくても活動できたため、減額とした。

**Q** 言語能力向上推進授業については。

**A** 25年度は本宿小学校と、平井小学校。26年度は平井小学校1校。

**Q** 河川の水位計の設置状況は。

**A** 平井川については、西多摩建設事務所が管理しており、尾崎橋に設置されている。

**Q** 流用した金額の戻しについては。

**A** どうしても、やらなければいけない事業に流用し、その後補正予算で流用した金額を戻している。

**Q** 日の出町の事務事業の数は。

**A** 毎年約300くらいで推移している。26年度は一般会計で271件。

Q 土地賃借料、土地の取得については。

A 地権者の都合等もあり、事業の継続、財政状況を踏まえて慎重に検討していきたい。

Q 循環バス運行委託料、運行状況は。

A 利用者数については増加している。本数については増加は難しい状況。

バス停については、設置するのは難しい。今後検したい。バスの回り方については、ベストな状態と思うが、要望などは反映させていきたい。

Q 教育費の24万1千円の流用については。

A 市町村共済組合の負担金の不足により流用し、その後補正予算を組み、流用額を戻した。

Q スポーツ祭東京の実行委員補助金は。

A サッカー教室、大会当日に配ったうちわ、おもてなしの飲み物、広報の経費、駐車場の草刈等の経費等。

Q 今後の行財政の重点をどこにおくのか。

A 財政のバランスのとれた町づくりをすすめ、合理化の中で少数精鋭での町づくり、町民サイドにたったサービスを進めていく。

Q 町有財産の売り払いについては。

A 自主財源を考える上でも売却できる物は売却し、維持管理費の節減を図ると同時に固定資産税等の税金にも結び付けたい。

### 特別会計

#### 国民健康保険

Q 国民健康保険が東京都に移されると聞くが、保険業務がどのように変わるのか。

A 平成29年に向けて国と都道府県が協議をしている。保険税の賦課徴収、資格の管理、保険事業等は引き続き町の役割となる予定。

Q 国民健康保険税の徴収率は。

A 現年度分が0.3ポイント下がった。必ずしも値上げの影響とは限らず、その年度によって増減があると思う。今後検証を進めていきたい。

Q 検診率については。

A 国保の特定検診については、昨年の実績では40から74歳まで52.3%。前年度を9.9%上昇した。特定保険指導についても57.1%と23.4%の上昇となった。

#### 下水道事業

Q 企業で接続していない所11件と聞いたが、変わったことはあったか。

A 業種の変更により、企業としては現在8件がまだ未接続。

#### 介護保険

Q 新たな施設のオープンが待機者の入所につながっているのか。

A 26年度については、新清快園が開所し、定員118名ですでに110人が入所。幸神さくらは定員120名で、200名程度応募があるのと。

Q 介護給付費の準備積立金は。

A 25年度末の基金の残高3千5百94万7千726円となっている。26年度については5千4百万円余を確保している。

#### 後期高齢者

Q 後期高齢者の短期保険証の発行は。

A 後期高齢者には発行していない。



新たにオープンした福祉施設

# 日の出議会だより 表紙写真を募集しています

日の出町議会では、年4回発行する「ひので議会だより」の表紙写真に、町民の皆様からの写真を募集いたします。

## 1. 応募期間（第1回）

- 平成26年11月15日から12月28日
- 第173号（平成27年2月15日発行）に掲載予定
- 町内で撮影した冬をイメージした写真



## 2. 応募条件

- 町内在住・在勤の方
- 日の出町内で応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品に限ります。
- 明らかに人物が特定される場合は、ご本人の了承を得てください。
- 応募写真は無償で日の出町議会が使用することに許諾したものとします。
- 一人につき1作品応募できます。

## 3. 審査

議会だより編集委員会が審査します。

## 4. 紙面への掲載

○氏名、地区名及び撮影場所を掲載します。なお、作品はカラー写真で掲載されます。

## 5. 規格

〔メールの場合〕

- 画像サイズ：1600×1200ピクセル以上
- ファイル形式：JPEG
- ファイルサイズ：メール1件につき3MB程度まででお送りください。

〔郵送の場合〕※作品は返却いたしません

- 印紙サイズ：2Lサイズ以上A4程度

## 6. 応募方法

表紙写真応募用紙に必要事項を記入の上、下記あて先までご応募ください。

※応募用紙は、議会ホームページ、議会事務局まで

## 7. 宛先

〒190-0192 日の出町平井2780番地  
日の出町議会事務局

メールアドレス [gikai@town.hinode.tokyo.jp](mailto:gikai@town.hinode.tokyo.jp)

メールの件名 「議会だより写真応募」

※詳しくは、日の出町議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

次の定例会は12月に開かれます

## 12月定例会日程（予定）

11月	25日（火）	議会運営委員会	10:00～
12月	1日（月）	本会議（議案審議）	10:00～
	2日（火）	総務まちづくり常任委員会	9:00～
		厚生文教常任委員会	13:00～
	3日（水）	予算決算常任委員会	10:00～
	4日（木）	休会日	
	5日（金）	休会日	
	6日（土）	休会日	
	7日（日）	休会日	
	8日（月）	議会運営委員会	10:00～
	9日（火）	休会日	
	10日（水）	本会議（一般質問）	10:00～
	11日（木）	本会議（一般質問）	10:00～
	12日（金）	本会議（議案審議）	10:00～

本会議の会議録を  
インターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。

知りたい情報を広く的確に調べることができますので、積極的にご利用ください。

### アクセス方法

町のホームページ  
([www.town.hinode.tokyo.jp](http://www.town.hinode.tokyo.jp))



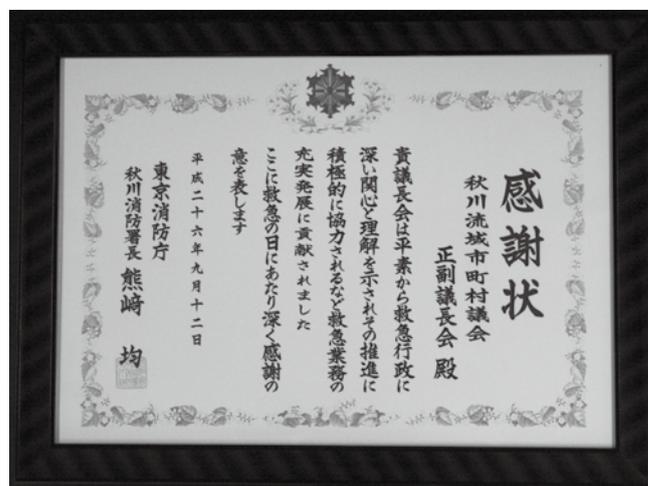
日の出町 行政情報・日の出町議会情報



会議録検索システム

日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等も掲載しています。

秋川流域市町村議会議長会に対して、秋川消防所長より、日頃の救急業務の充実と、発展に対する協力に対して感謝状が贈呈されました。



## 西多摩地区議長会議員研修会



10月29日、桧原村役場において開催されました。  
講師 政治ジャーナリスト 泉 宏氏  
演題 「政局展望＝日中、原発再稼働、福島知事選・揺れる安倍政権＝」

## 第25回東京都道路整備事業推進大会



○東京の広域化する交通混雑の緩和や安全で快適なまちづくりを目指す。  
10月30日、日比谷公会堂において開催されました。

### 議会だより編集委員

川脇 敏徳 東 玉喜 小玉 正義  
濱中 映慈 青鹿 和男 折田 眞知子  
(編集委員長)

### 日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線360  
担当者 濱中

再生紙を使用しています。

# 議会日誌

## 西多摩郡議員親睦会



10月3日、檜原村都民の森にて開催されました。

## 編集後記

猛暑だった夏も過ぎ季節はすっかり秋です。町民の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

今年もすでに残り少ない日々となってまいりましたが、振り返ってみますと今年も様々な出来事がありました。自然災害では、二月の記録的な大雪、また八月には広島県での土砂災害で、尊い生命と住む場所が瞬時に奪われる恐ろしさを痛感した年でもありました。このような自然災害に対して、日の出町でもこれまでの防災計画が見直されました。まずは「自助・共助」の精神と自ら住んでいる地域特性を理解した上で、日頃からさらに防災・減災意識を高めて頂きたいと思えます。

最後に、議会だよりに掲載する写真を公募することになりました。町民の皆様に応募して頂くことによって、議会広報に興味を持ち、読みたくなるような紙面作りにさらに取り組んでいきたいと思えます。

編集委員 川脇 敏徳